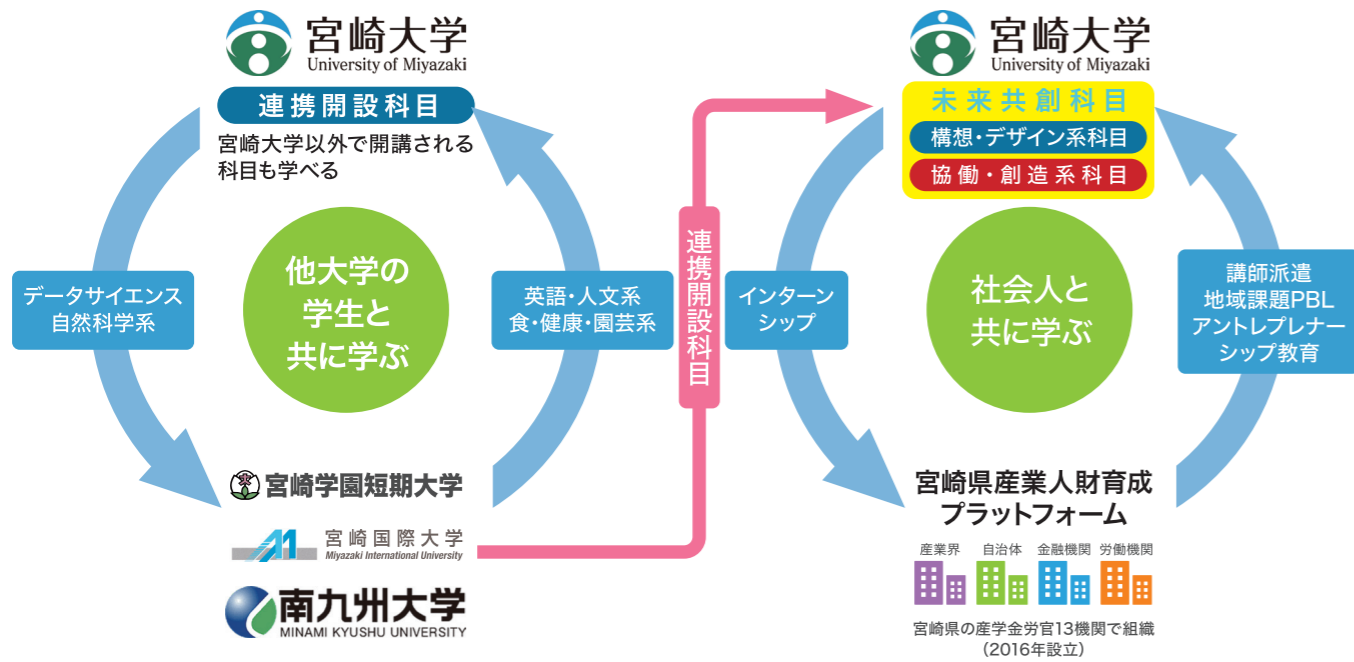


SPARC未来共創教育プログラムにおける多様な学びの場の提供



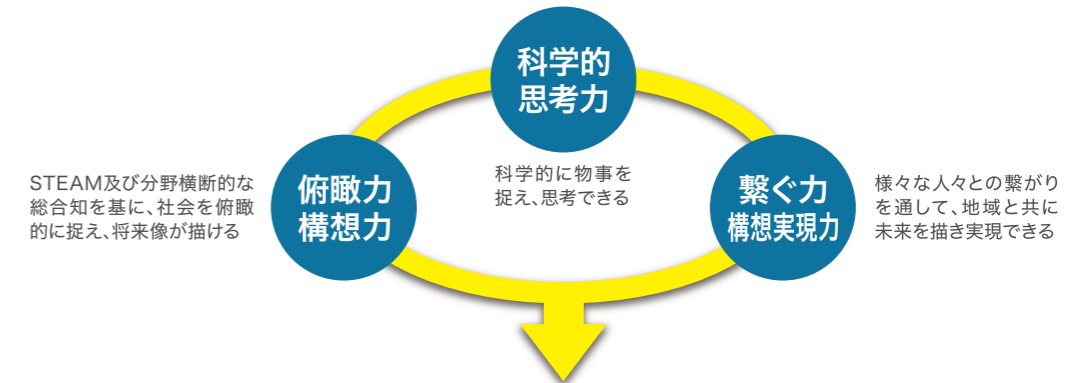
連携開設科目では、参加大学の特色ある科目を他大学の学生が受講することができ、多様な学びの場が提供されています。また、未来共創科目では、産業界、自治体、金融機関、労働機関と連携し、「構想・デザイン系科目」において課題発見や解決に必要な視点・手法・思考法を学び、「協働・創造系科目」においてアントレプレナーシップやPBL(課題解決型学習)を学ぶことができます。これら未来共創科目は連携開設科目として参加大学の学生が受講できるだけでなく、社会人と共に学ぶ機会も提供されています。

宮崎大学 SPARC 未来共創教育プログラム



未来共創人材とは
様々な人々と協働して、未来に向けた「新しい価値観」を提供できる人材

未来共創人材に必要な3つの力



時代の変化に目を向け、柔軟に戦略立案・意思決定ができる

事業拡大やイノベーションに挑戦し、企業や地域等を支えることができる

自ら主体的・積極的に価値を創造するチャレンジマインドが持てる

横断的で広い視野を持ち、多様な人と繋がり、巻き込むことができる



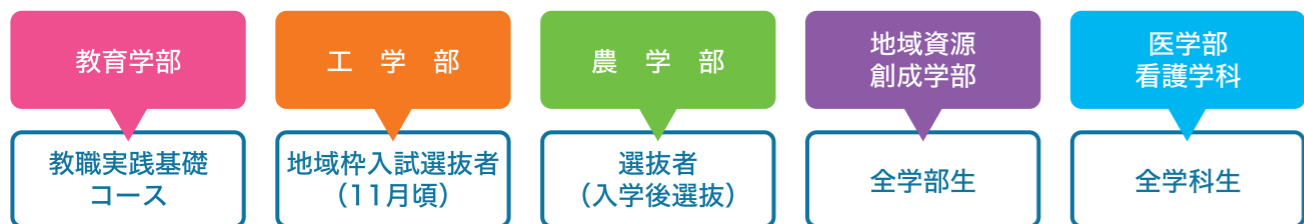
SPARC未来共創教育プログラムを修了すると

- SPARC未来共創教育プログラム修了証の授与
- 県内の就職希望先における採用試験でのインセンティブの提供 (例: 一次試験免除など)



宮崎大学は、新しい価値を創造し、持続可能な地域づくりを牽引する「未来共創人材」を育成するため、南九州大学、宮崎国際大学、宮崎学園短期大学の連携大学と協働し、文理横断型の「宮崎大学 SPARC学位プログラム」を構築しました。

SPARC未来共創教育プログラムを受けるためには？



文理横断を実現する新カリキュラム

科目群	系列	
	導入科目 16~20単位	大学教育入門セミナー 情報・データリテラシー※1 英語 専門接続系
課題発見科目 6~18単位	データサイエンス系※2 S M 人文・社会・芸術系 A 自然・生命・技術系 S T E 地域・国際・学際系 A	<p>「SDGs」も学べます 一部の科目のシラバスに「SDGsの目標番号」を記載します</p>
未来共創科目 8単位	構想・デザイン系 (キャリア教育を含む) 協働・創造系	<p>一部の科目は全学部の学生と共に学べます</p>

※1 情報・データリテラシー 文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」認定制度(MDASH) リテラシーレベル(プラス)に認定
 情報処理、人工知能などの知識とそれらを適切に理解し活用する基礎的なリテラシーレベルの能力を身につける

※2 データサイエンス系 文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」認定制度(MDASH) 応用基礎レベル(プラス)に認定
 数理・データサイエンス・AIを実践的に扱える能力を身につける

修了者には「オープンバッジ」が授与されます。「オープンバッジ」とは、知識・経験のデジタル証明です。

未来共創科目

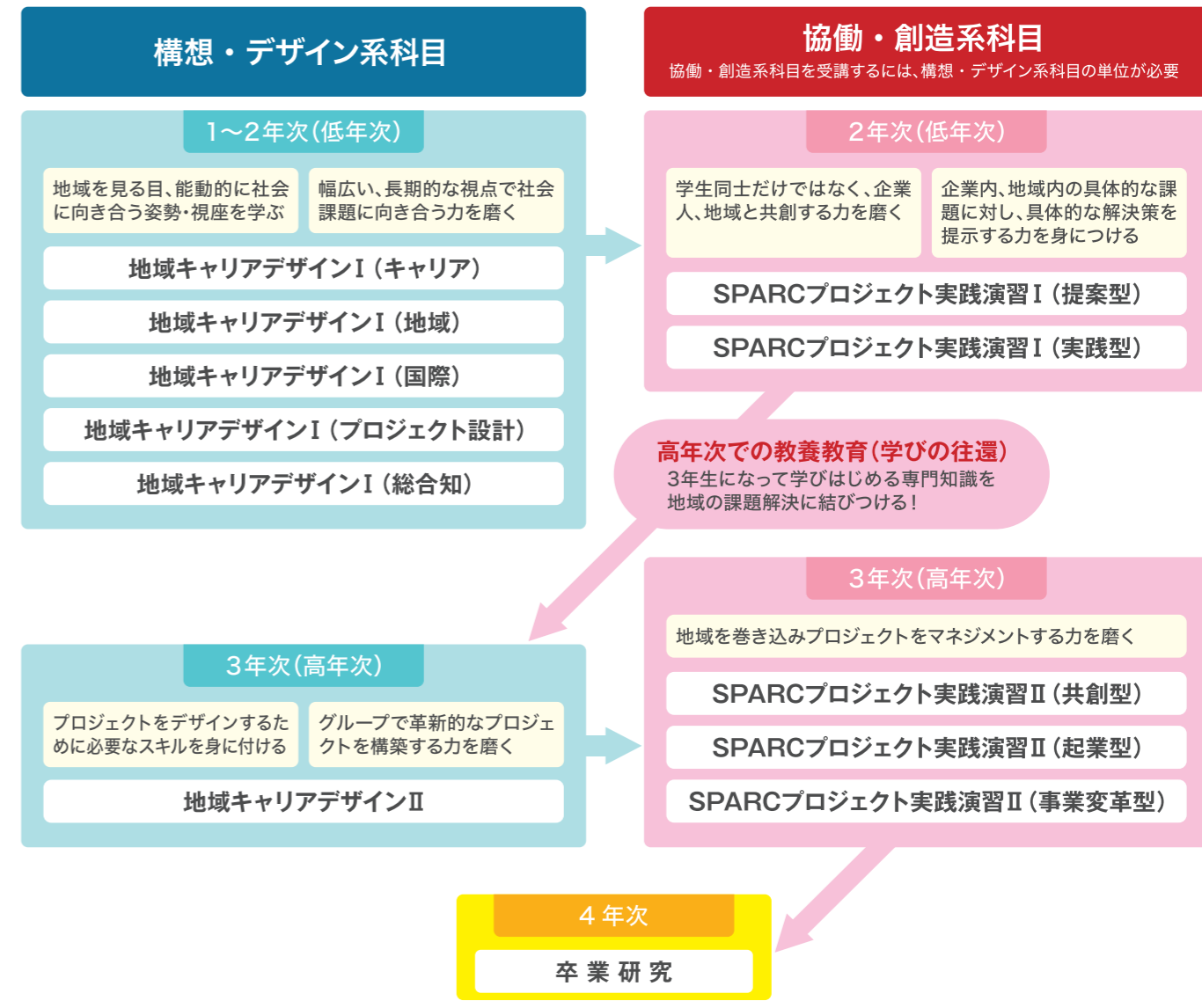
宮崎という地域をフィールドに、地域学・アントレプレナーシップ(起業家精神)教育・PBL(問題解決型授業)を通じて、地域とともにプロジェクトをデザインし、マネジメントする力を身につけます。

※「協働・創造系科目」は教養教育科目ですが、履修できるのはSPARC未来共創教育プログラムの学生だけです。

未来共創科目の2系統



「知」は是れ「行」の始め、「行」は是れ「知」の成るなり



アントレプレナーシップ教育

～宮崎・学生ビジネスプランコンテスト～

宮崎県内の大学・短大・高専生を対象とした宮崎県最大規模のビジネスプランコンテスト、通称「みやざきビジコン」。参加した学生がビジネスプランをつくりプレゼンし、その新規性や実現可能性、表現力を競うコンテストです。



地域の課題を取り入れた卒業研究の実施

一般社団法人 高等教育コンソーシアム宮崎 公募型卒業研究テーマ事業

卒業研究で学生が取り組む「研究テーマ」を広く地域社会から募集し、参加機関の学生が卒業研究として地域の企業・地方公共団体等が抱える実際の問題に取り組む事業です。

令和5年度実績	応募団体：16 団体(企業 6、自治体 10)	応募件数：36 件
	採択件数：23 件(採択率64%)	参加校数：4 校



口頭発表の様子